



## 人間ドック受診費用を助成します



市は、国民健康保険に加入している人と、後期高齢者医療制度に加入している人を対象に、人間ドックの受診費用を助成しています。

本年度(4月1日～令和2年3月31日)の助成内容は次のとおりです。病気を早期に発見するため、制度を活用し人間ドックを受けませんか。

問い合わせ・申請 本館国保医療課(☎24-2111内線531)、各総合支所健康福祉係(大迫☎48-2111内線143、石鳥谷☎45-2111内線227、東和☎42-2111内線222・223)

### 国民健康保険の加入者

#### ■対象

- 次の①～③を全て満たす人
- ①国民健康保険に加入している35歳以上の人
- ②本年度に特定健康診査を受診しない人
- ③特定健康診査の検査項目を含む人間ドックを受診する人(検査機関の指定は無し)

#### ■助成額

次の②と④の合計額(限度額20,000円)

②特定健康診査分の料金

④人間ドックの受診料の2分の1の額(特定健康診査分の料金を除いて計算)

※助成は年度内1回限り

#### ■申請方法

人間ドック受診の翌日から40日以内に▷検査結果と問診票の写し▷領収書▷保険証▷世帯主名義の通帳・印鑑一をお持ちの上、上記へ申請してください。

### 後期高齢者医療制度の加入者

#### ■対象

- 次の①～③を全て満たす人
- ①後期高齢者医療制度に加入している人(75歳以上の人または65歳以上で障がい認定を受けている人)
- ②本年度に高齢者健診を受診しない人
- ③本年度に他の人間ドック助成を受けない人

#### ■助成額

人間ドックの受診料(限度額20,000円)

※助成は年度内1回限り

#### ■申請方法

●指定医療機関(右表)で人間ドックを受ける場合  
指定医療機関への予約の後、人間ドック受診前に▷保険証▷印鑑一をお持ちの上、上記へ申請してください。

#### \*指定医療機関で受診する場合の手続き

申請受け付け後、決定通知書を送付します。受診する指定医療機関に、この決定通知書をお持ちください。

いずれの指定医療機関も、検査項目と受診料は同じです。窓口で支払う額は、受診料から助成額を差し引いた2,000円(眼底・眼圧検査を加えた場合は6,000円)となります。

#### ●指定医療機関以外で人間ドックを受ける場合

人間ドック受診後に▷領収書▷検査結果と問診票の写し▷保険証▷印鑑▷通帳一をお持ちの上、上記へ申請してください。

#### 【指定医療機関一覧】

医療機関名	所在地
イーハトーブ病院	湯口
小原クリニック	西大通り
おばら内科・消化器内科クリニック	仲町
川嶋医院	鍛冶町
菊地内科クリニック	浅沢
熊谷内科胃腸科医院	若葉町
恵ライフクリニック	太田
笹川医院	花城町
ささきクリニック	中北万丁目
さとう内科クリニック	御田屋町
循環器科・内科大平医院	鍛冶町
すがさわ外科内科クリニック	二枚橋
須田内科医院	円万寺
総合花巻病院	花城町
高木丘クリニック	高木
たきの内科・循環器科クリニック	大通り
ちば心療内科クリニック	諏訪町
とみつか脳神経外科クリニック	御田屋町
中館内科クリニック	不動町
藤巻胃腸科内科クリニック	高木
ゆかわ脳外科	西大通り
湯本診療所	湯本
大迫地域診療センター	大迫
石鳥谷駅前クリニック	好地
花巻市石鳥谷医療センター	八幡
宝陽病院	新堀
渡辺医院	好地
織笠内科医院	土沢
晴山医院	東晴山

※眼底・眼圧検査は、上記の大迫地域診療センター(火曜日のみ、要予約)、宝陽病院(日曜日午前のみ)のほか、白井眼科クリニック(材木町)、ささき眼科(桜台)、いしどりや眼科(好地)で実施しています



## 認知症などによる徘徊が不安な人へ 位置情報検索機器の導入費用を補助します

市では、外出中に道に迷う高齢者(以下「認知症等高齢者」)などを早期に発見するため、位置情報検索機器(GPS機器)の導入費用の一部を補助しています。

### 位置情報検索機器(GPS機器)

この機器を持った高齢者が所在不明になった場合、GPS(衛星利用測位システム)信号で居場所を特定。使用する機器によって異なりますが、インターネットに接続されているパソコンやスマートフォンなどで、位置情報を確認できます

### ■対象

次の要件を全て満たす人

- ①花巻市徘徊高齢者等SOSネットワーク(☎)登録者
- ②市内に住所がある認知症等高齢者本人または同居する親族

### ❖花巻市SOSネットワーク

行方不明になった認知症等高齢

者などを地域ぐるみで発見・保護する仕組みです。同ネットワークの利用には、事前登録が必要です。また、見守りにご協力いただける人を募集しています。詳しくは、新館長寿福祉課までお問い合わせください。

### ■補助内容

位置情報検索機器(付属機器を含む)の購入または貸与費用

### ■補助金額

上限1万円

❖募集要項および申請書類は左記で配布するほか、市ホームページに掲載しています

【問い合わせ・申し込み】

新館長寿福祉課(☎24・2111  
内線578)



赤字を減らして運行維持へ

## 路線バス大迫石鳥谷線に乗ろう

【問い合わせ】  
新館都市政策課(☎24-2111内線562)

大迫石鳥谷線は、大迫地域からJR石鳥谷駅を結ぶ路線バスです。平日は9往復、土・日曜日、祝日は4往復し、地域間の移動手段として重要な役割を果たしています。

現在の大迫石鳥谷線は、利用者が少なく大幅な赤字路線となっています。県と市では、当該路線の運行を維持するため、合わせて年間450万円を補助。それでも不足する約850万円の費用を運行事業者の岩手県交通(株)が負担しています。また、東日本大震災の復興支援策として平成23年度から実施されている県の補助金交付基準の緩和措置が、令和2年9月末に終了する見込みとなっています。

今後も県の支援を受けながら当該路線の運行を維持するには、補助金交付基準(1便平均4人利用)を満たす必要がありますが、現在の利用状況が1便平均2人(平成30年9月末現在)と低いため、今まで以上に利用していただく必要があります。

市では、県の支援を受けられなくても当該路線の運行を維持する方針ですが、運行事業者の負担が大きいと、現状の便数を維持できない可能性があります。

地域の皆さんの大切な交通手段となる路線バスを維持するため、みんなで「大迫石鳥谷線」を利用しましょう。

### ◆ ◆ ◆ 大迫石鳥谷線の収支状況(平成29年10月～30年9月) ◆ ◆ ◆

【支出】	運行経費 約2,200万円	
【収入】	運賃など 約900万円	赤字額 約1,300万円
【赤字補填の内訳】	補助金 450万円	運行事業者負担 約850万円